

事務局記事

1. 火山噴火予知連絡会開催状況（平成13年5月～10月）

平成13年5月28日(月) ・第89回火山噴火予知連絡会(定例会)

(以上の議事録は、会報79号に掲載。)

7月4日(水) ・第1回富士山ワーキンググループ

8月1日(水) ・第2回富士山ワーキンググループ

10月22日(月) ・第4回活火山ワーキンググループ

・幹事会

・第90回火山噴火予知連絡会(定例会)

10月31日(水) ・第3回富士山ワーキンググループ

(以上の議事録を本号に掲載。)

2. 第90回火山噴火予知連絡会について

三宅島の火山活動に関して統一見解(127ページ)をとりまとめ、全国の火山活動についてのまとめ(128～130ページ)とともに公表した。井田会長、渡辺委員(伊豆部会長)、竹内委員(気象庁)が記者会見で説明した。

3. 火山活動に関する説明会について

事務局(気象庁地震火山部火山課)では、定例の火山噴火予知連絡会の翌日、地方自治体および関係機関の防災担当者を対象に連絡会での検討内容を説明する会を開催している。第90回連絡会の翌日の平成13年10月23日(火)に開催し、7機関8名の出席があった。

4. 活火山ワーキンググループについて

活火山の選定および長期的な活動特性の評価のために活火山ワーキンググループの会議を平成13年10月22日に開催した。

5. 富士山ワーキンググループについて

富士山の火山活動の変化の現われ方や火山情報等に関する調査を行うため、富士山ワーキンググループの会議を平成13年7月4日、8月1日、10月31日に開催した。

6. 三宅島総合観測班について

三宅島における火山活動の評価のための各種の観測計画等の総合的な検討を行うことを目的として、平成13年8月10日に三宅島総合観測班を立ち上げた(131ページ)。8月17日、9月26日に打合せを行い、その検討結果を幹事会に報告した。